

「多様な学びを支える心理教育的アセスメント」

日時	平成29年10月4日(水)	受講者	20名
目的	心理教育的アセスメントを生かした児童生徒の指導・支援について研修を行い、指導力の向上を図る。		
講義1 「心理アセスメントの実際」	福島県発達障がい者支援センター 主任心理判定員 宍戸 府子 氏		
講義2 「教育的アセスメントを活用した配慮や支援の実際」	特別支援教育センター <small>統括特別支援教育 コーディネーター</small> 内藤 裕美		
演習 「アセスメントをもとにしたケース検討」	特別支援教育センター 主任指導主事 佐藤 登 指導主事 4名		
<p><講義1> 「アセスメントの実際」 心理アセスメントについて、実際の検査道具などを見せていただきながら、検査法の種類や「新版K式発達検査」「Vineland-II適応行動尺度」などの検査法の概要について学びました。 また、具体的な事例を通して、所見の読み取り方を学び、所見をもとにした具体的な支援について考えました。</p> 	<p><講義2> 「教育的アセスメントを活用した配慮や支援の実際」 教育におけるアセスメントの意義や、それぞれのアセスメントを行うポイントなどについて学びました。また、アセスメントは、「子どもの自己実現のため」に行うものであり、そのためには「子どもを知ること」「子どもを取り囲む環境を知ること」が大切であることを確認しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">主なアセスメントの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="background-color: #f8d7da; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">行動観察 <li style="background-color: #fff3cd; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">発達アセスメント <li style="background-color: #d4edda; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">心理アセスメント <li style="background-color: #d1ecf1; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">学カアセスメント <li style="background-color: #fff3cd; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">行動・社会アセスメント <li style="background-color: #d4edda; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">子どもを取り巻く環境のアセスメント  </div>		
<演習>			
<p>受講者が事前に作成した資料をもとに、対象の児童生徒についての情報を整理し、本人の「強み（得意とすること）」と「弱み（苦手とするところ）」を推測し、今後の配慮について検討しました。アセスメントの6つの視点に応じて情報を整理していくことで、様々な視点で情報収集を行っていく大切さを確認しました。また、本人の好きなことや興味・関心、得意なところを「強み」として今後の配慮や支援に生かしていくことの大切さを、協議を通して確認しました。</p>			
受講者の感想			
<p>○アセスメントの意義をあらためてとらえ直すことができました。（特別支援学校教員）</p> <p>○アセスメントには多数の方法があり、「子どもを取り巻く環境のアセスメント」も大切だと言ってもらえたことがよかった。心理アセスメントが強調されるのではなく、いろいろな方法が必要だとあらためて認識できた。（小学校教員）</p> <p>○アセスメントの種類、方法、目的など詳しく知ることができ、よかったです。演習では、たくさんの視点からアドバイスをいただき、勉強になりました。（特別支援学校教員）</p> <p>○自分自身、どのように対応してよいか悩んでいたが、先生方のアドバイスをいただき、すぐに実践できるものが数多くあった。（高等学校教員）</p>			